

5-11 東海および伊豆地域におけるテレメータによる地下水中の
ラドン濃度・水質観測結果（1992年）（11）

The Variation of the Radon Concentration and Conductivity in
Groundwater Observed by the Telemetry System in the Eastern
Tokai District and Izu Peninsula, Central Japan (1992) (11)

地質調査所
Geological Survey of Japan

1992年分の東海および伊豆地域におけるテレメータによる地下水中のラドン濃度・水質観測結果を報告する。本年5月で清水観測井の観測を終了し、7月より御前崎観測井において塩分濃度の観測を開始した。観測井の位置は第1図に示す。観測データは2分毎に収集・処理されているが、本報では各観測井における1991年1年間の1時間平均値を第2図に示す。

以下に観測結果の概要を述べる。

1) 清水観測井

本観測井のラドン濃度は、地震に対応する変化がほとんど見られず、観測施設の老朽化も著しくなったため観測を終了した。

2) 姫の湯観測井

本観測井は自噴井であり、配管の工夫によりラドン計に流入する地下水量の調整を行っている。本年は流量計の更新に伴う配管系の工事が行われ、工事・調整の際にラドン計への流入量に変化したため、ラドン濃度のレベル変化が生じた。

3) 御前崎観測井

本観測井の地下水は、電気伝導度が非常に大きく、通常の地下水用の計器では測定できない。そのため、塩分計を利用して水質のモニターを行っている。第2図では溶存成分をNaCl濃度に換算して表示している。

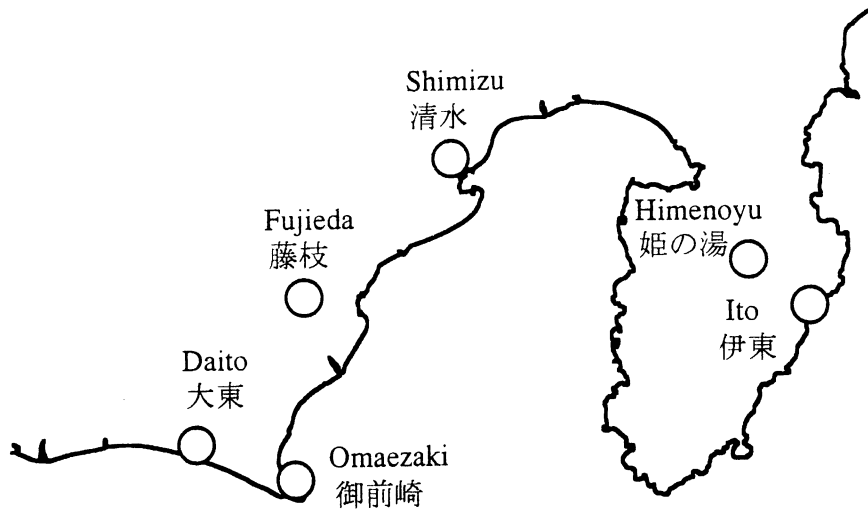
3) 地震と関連する変動

本年中にはラドン濃度、水質の観測値が変動するような地震は発生せず、年間を通し安定した観測値が得られた。

（高橋 誠，松本 則夫，野田 徹郎）

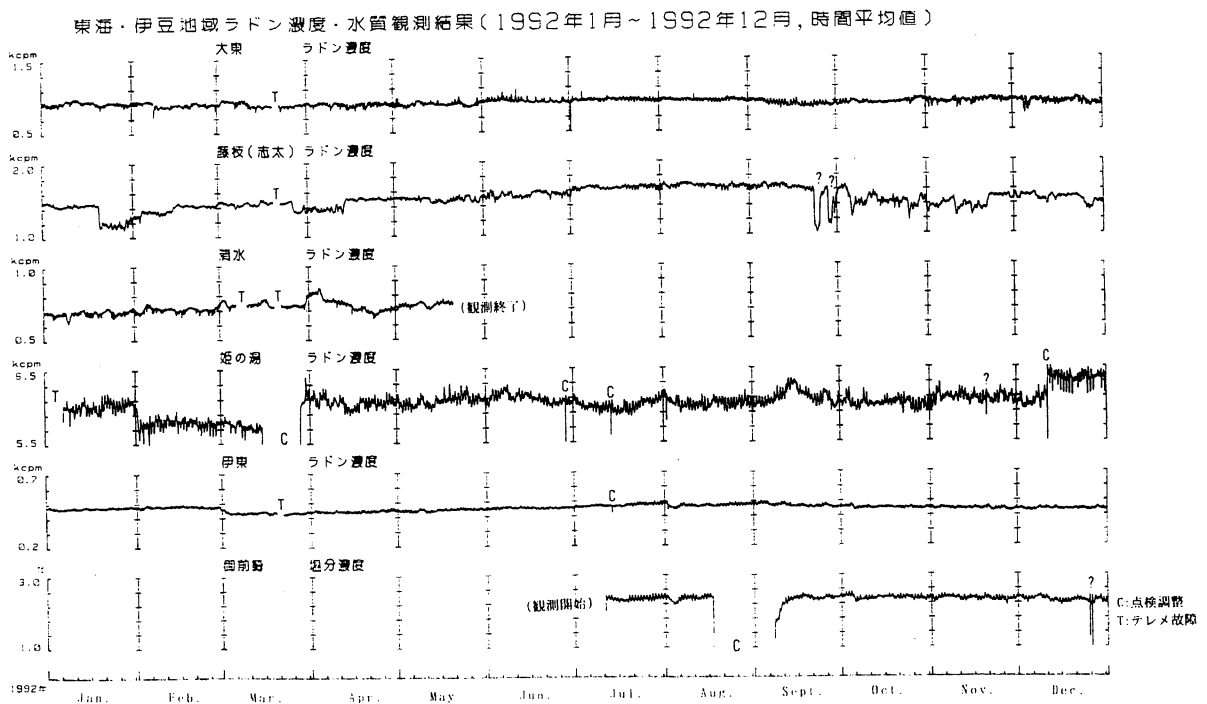
参 考 文 献

- 1) 地質調査所：東海・伊豆地域におけるテレメータによる地下水中のラドン濃度観測結果（1991），連絡会報，48（1992），369-371.



第1図 東海・伊豆地域のラドンおよび水質観測地点

Fig.1 Locality of the observation site.



第2図 東海・伊豆地域におけるラドン計数率観測結果（1992年）（1時間平均値）

C：点検調整 T：テレメータ故障

Fig.2 The variation of radon concentration and conductivity of groundwater at six observation sites in 1992.

C：maintenance

T：telemeter system failure